

## 指定管理者評価票(評価対象年度:令和4年度)

施設名	西町地域センター・生きがいセンターにしまち・にしまち児童館・西町学童保育所	所属名	市民生活部協働コミュニティ課・福祉部高齢福祉課・子ども家庭部子ども子育て支援課
指定管理者名	株式会社こどもの森	指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
施設の設置目的	地域センター:市民の集会、学習及び交流の場として国分寺市立地域センターを提供し、市民文化の向上と福祉の増進に寄与するため。 生きがいセンター:高齢者が健康で生きがいを持って生活することができるよう、相互の交流を促進し、心身の維持、向上を図るため。 児童館:児童厚生施設として、遊びの場を提供し、子どもたちの健全な育成や親の子育てを支援する。 学童保育所:保護者の就労等により昼間適切な監護を受けられない児童に対し、適切な遊びと生活の場を与え、健全な育成を図る。		
事業概要	地域センター:コミュニティ施策の推進、地域センターの管理運営及び施設の貸出に関すること。 生きがいセンター:60歳以上の市民の教養向上・レクリエーション等随時利用できる場所の提供・市民の心身の健康増進に関すること。 児童館:子どもに対する遊びや文化の提供、子どもの健全育成に係ること。 学童保育所:子どもに対する生活の場の提供、子どもの健全育成に係ること。		

単位:円

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	累計
<b>収入</b>		<b>69,920,594</b>	<b>68,990,729</b>	<b>71,674,523</b>	<b>210,585,846</b>
収入内訳	指定管理料	69,920,594	68,876,320	70,264,859	209,061,773
	利用料金	0	0	0	0
	その他	0	114,409	1,409,664	1,524,073
<b>支出</b>		<b>69,935,739</b>	<b>68,833,119</b>	<b>71,585,567</b>	<b>210,354,425</b>
<b>収支差額</b>		<b>-15,145</b>	<b>157,610</b>	<b>88,956</b>	<b>231,421</b>

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由	前年度	前々年度
画収 確の 支 適 計	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	予算額に対し決算額が超過している予算科目が一部あるものの、収支計画に基づき適正に執行されていた。	3	2
業務の 履行 状況 の 評価	協定等に基づき業務が実施されていたか	4	モニタリング及び事業報告書等の確認の結果、協定書、各仕様書及び事業計画書等に基づき業務が実施されていた。	4	4
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	3	業務仕様書等に定められた開館日数・開館時間が守られていた。地域センター及び生きがいセンターにおいて、開館担当職員が鍵を不携帯であったことに伴う開館時間の遅延があったが、その後については、再発防止策が講じられ、問題なく対応している。	4	4
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	3	児童館及び学童保育所においては、各業務における執行体制をより明確にしていける必要があるが、業務仕様書等に基づき必要な職員が配置されていた。	4	4
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	防火管理者、放課後児童支援員等の必要な有資格者が確保されていた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	現地調査の結果、書類は管理事務室内の施錠できる書庫に保管し、適切に取り扱われていた。また、苦情対応の報告が遅れがあったがその後改善され、必要な報告が適時なされていた。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	3	巡回時やモニタリングチェック等では特に問題がなく、施設内は清潔に保たれていた。また、新型コロナウイルス感染症については、物品等の消毒など基本的な感染防止対策がなされていた。	3	3
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	報告書等の書類確認や現地調査の結果、適切に実施されていることを確認した。	3	3

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	【西町地域センター】 利用率:40.2%	【西町地域センター】 利用率:43.5%	【西町地域センター】 利用率:40.8%	【西町地域センター】 利用率:41.5%
	【生きがいセンターにしまち】 利用者数計:2,716人 (内訳) 個人利用者数:1,565人 団体等利用者数:1,151人 利用率:19.9%	【生きがいセンターにしまち】 利用者数計:4,058人 (内訳) 個人利用者数:2,023人 団体等利用者数:2,035人 利用率:33.3%	【生きがいセンターにしまち】 利用者数計:4,340人 (内訳) 個人利用者数:1,794人 団体等利用者数:2,546人 利用率:40.2%	【生きがいセンターにしまち】 利用者数計:3,705人 (内訳) 個人利用者数:1,794人 団体等利用者数:1,911人 利用率:31.1%
	【にしまち児童館】 延べ利用者数:5,854人 【西町学童】 利用率:67.0%	【にしまち児童館】 延べ利用者数:11,224人 【西町学童】 利用率:84.3%	【にしまち児童館】 延べ利用者数:18,130人 【西町学童】 利用率:90.7%	【にしまち児童館】 延べ利用者数:11,736人 【西町学童】 利用率:80.7%
利用者満足度(%)	【西町地域センター】 【生きがいセンターにしまち】 90%	【西町地域センター】 【生きがいセンターにしまち】 94%	【西町地域センター】 【生きがいセンターにしまち】 97%	【西町地域センター】 【生きがいセンターにしまち】 93.6%
	【にしまち児童館】 92.1% 【西町学童】 95.1%	【にしまち児童館】 100.0% 【西町学童】 97.5%	【にしまち児童館】 98.0% 【西町学童】 91.7%	【にしまち児童館】 96.7% 【西町学童】 94.8%

※西町学童の利用率は、1日平均出席人数(延べ出席人数÷年間保育日数)÷定員数で算出

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	西町プラザ及び西町学童保育所の全ての施設において9割に達する満足度を得ており、高い水準を確保している。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	3	利用者協議会は、新型コロナウイルス感染症の影響により未開催となったが、協議会が実施する古紙回収などは継続して協力していた。また、児童館においては子どもたちの意見を職員の回答つきで館内に掲示し、学童においては新たな事業として、令和5年3月春季休業期間から配食サービスを開始した。	3	3
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	3	職員の服装等は適切であり、丁寧な対応を行っていた。また、利用者から接遇時における職員のマナー、言葉づかいに対する意見があったが、状況確認を含め、接遇について再確認するよう指示し、その後については問題なく対応している。	3	3
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	学童でおたよりの電話番号誤記に関する苦情があったが、相手方への謝罪、保護者への訂正の連絡等を行い、適切に対処している。	3	3
	個人情報適切に取り扱われていたか	3	個人情報を処理するパソコンとインターネット節節のパソコンは分けられていた。また、名簿等の個人情報に関わる書類もお施錠できる棚に格納されており、適切に取り扱われていた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	3	経験年数の浅い職員を中心に本部主催の各種研修を受講しているほか、施設内でもアレルギー研修を実施していた。研修の受講報告書を作成し、職場内で情報共有していた。	3	3
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	モニタリング実施時にヒアリングを行い、公共施設の設置目的を理解した適切な管理・運営を行っていることを確認した。また、児童館・学童においては、市が実施した障害児研修や報告会に積極的に参加し、障害児担当会議でも他施設と情報共有しながら適切に対処していた。	3	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—			—

施設の 水準の 特性に 応じた 評価	利用者協議会等の運営(協議会を開催し、その意見を西町プラザの運営に反映すること)	3	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者協議会は未開催となったが、再開に向けた役員会に出席し、意見交換や調整を行っていた。	3	3
	地域との連携(西町プラザまつりを支援・協力し、地域の祭り等に参加すること)	3	新型コロナウイルス感染症の影響により、西町プラザまつりの開催は中止となったが、次年度の開催に向け、実行委員会と連絡・調整が密に行われていた。	3	3
	高齢者の健康づくりを目的とした自主事業を、地域特性・複合施設などの施設の特徴及び利用者の声などをもとに企画し実施している。	3	高齢者の健康づくりを目的とした自主事業として、利用者から継続希望のある「落語会」を企画し実施した。	4	3
	自然災害等への対応	3	児童館においては、館内に子どもが書いた避難経路のポスター等を複数掲示していた。にしまちプラザ全体の訓練も含め避難訓練も適切に実施した。学童も計画通り2か月ごとに避難訓練を実施した。	4	4
	学校及び地域等との連携による児童の育成支援への取組について	3	児童館においては、しめ縄づくりなど複合施設ならではの交流や、保育園の先生によるベビーマッサージやふれあい遊びを実施した。学童では八小の家庭科室を借用し分散保育を行っている。	3	3
	配慮を要する児童への対応について	3	学童において、加配児には障害児入所協議会で決定した適切な加配職員を配置し、障害児の特性に合わせ見守るなど適切に対応していた。アレルギー児については、お皿なども分け適切に対応していた。	3	3

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指標	評価項目	有無	実施状況	有無	前年度		前々年度	
関実提選 す施案 る状内 評況容 価の	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案	有	提案	有
					有無	有	有無	無
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直しして実施した場合を含む)	有	提案	有	提案	有
					有無	有	有無	有

主管課長の評価					
総合評価		評価の理由等		前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	<p>【西町地域センター】</p> <p>使用申請等の受付・承認業務や施設維持管理業務等は、条例・規則等の規定及び協定書・仕様書の内容に基づき実施され、法定点検も遅滞なく行っていた。また、公共施設予約システムが更新されたことに伴い、操作方法が分からないなどの問合せが増加したが、丁寧に対応し、利用者の満足度97%と前年度と比較して3%上昇したことに加え、自主事業では、「ニュースポーツカーレットを体験してみよう」を開始するなど、新たな事業を展開していた。</p> <p>【生きがいセンターにしまち】</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、計画通りの運営は叶わなかったが、市の方針に沿って、迅速かつ丁寧な対応を利用者へ行っており、大きな混乱もなく、運営がなされていた。公共施設予約システム導入において、利用者には丁寧な説明と案内を実施し、スムーズな運用を実施している。自主事業においても、状況にあわせて工夫を凝らし実施されていたので、今後も利用者に寄り添った運営を期待する。</p> <p>【にしまち児童館・西町学童保育所】</p> <p>児童館については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、系列保育園と連携した乳幼児親子向けの行事などを定期的に行うとともに、ウエスタンまつりの代替として「おまつりウィーク」を設定し、ビンゴ大会等のイベントを実施するなど、利用者のニーズを捉えた施設運営がなされていた。また、地域センターの利用者としめ縄づくりを行うなど、複合施設の特徴を生かした取組も行われていた。学童保育所については、学校の協力を得て学校施設を借用して分散保育を行うなど、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じるとともに、職員ミーティング等で障害児やアレルギー児の対応について情報共有等を行いながら、安心・安全な保育が実施されていた。今後も学校及び地域等とのつながりや利用者とのコミュニケーションを大切にしながら、利用者のニーズを捉えた様々な行事等を実施するとともに、安心・安全な施設の管理運営に努められることを期待したい。</p>		3	3
		主管課長：協働コミュニティ課長 氏名：小坂 彰久 主管課長：高齢福祉課長 氏名：澤田 元織 主管課長：子ども子育て支援課長 氏名：桑野 正樹			

指定管理者の評価					
総合評価		評価の理由等		前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	<p>子ども同士のトラブル、怪我の対応など1つずつ丁寧に対応した。利用者のニーズを聞き取り、要望の高かったマンガや新しいおもちゃを購入したりした。工作のイベントでは感染対策を徹底して開催した。小学生からの要望が多かった大会やきもだめしも実施し、来館につなげた。秋にはプラザまつりが中止だったためおまつりWEEKとして一日ひとつイベントを実施して利用者の要望に答えた。</p> <p>西町学童保育所においては、自主事業として地域の方に協力して頂きながら「しめ縄作り」を実施した。又、地域の方に喜んでもらえるよう館内をクリスマス飾りやひな飾りと春の装飾に飾りつけを行ったり、秋には敬老行事で学童から地域の方々へ手紙を書いてそれを掲示した。</p> <p>利用者の言葉に耳を傾け、利用者が快適に過ごせる様に改善を行った。自主事業として季節が感じられる皆の憩いの場となるように、施設内の飾りつけを行い利用者に季節を感じてもらった。利用者協議会の活動を活性化させるためにその資金となる資源物回収に協力した。利用者の「やりたい」という声を聞き、図書運営委員会のリサイクルバザー等を実施し、地域の活性化に努めた。利用者協議会役員会と連携した。作品発表の場として生きがいセンターと地域センターの利用団体による展示会を企画実施した。</p>		4	4

指定管理者評価委員会の評価					
総合評価		評価の理由等		前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	<p>新型コロナウイルス感染症対応として密を避けるために児童館イベントを分散して実施するなどの工夫をし、また、複合施設であることを生かして子どもたちが地域センターの利用者と一緒に参加できるイベントも実施した。公共施設予約システムの更新時には、円滑な移行のため利用者に対して丁寧な対応をしていた。</p> <p>学童保育所のアンケート結果においては、他の同様施設と比べて満足度の低い項目もある。その後改善に取り組まれていると思うが、指定管理最終年度において、より良い管理運営を行っていただきたい。</p>		3	3